



科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金)は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的研究費」であり、ピアレビューによる審査を経て、独自の・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

樹状細胞-血管内皮障害軽減を介した新たな臓器保存法開発への取組み

| | |
|-----------|-----------------------------------|
| 研究課題/領域番号 | 23K08746 |
| 研究種目 | 基礎研究(C) |
| 配分区分 | 基金 |
| 応募区分 | 一般 |
| 審査区分 | 小区分56030泌尿器科学関連 |
| 研究機関 | 東京医科大学 |
| 研究代表者 | 上野 琢哉 東京医科大学, 医学部, その他 (00296469) |
| 研究期間 (年度) | 2023-04-01 - 2026-03-31 |

令和 5 年度稼働の科研費が採択されました。

現在も大学職員として毎週大学での勤務（東京医科大学病院）をしておりますが、大事な勤務内容の1つとして臨床・基礎研究を行うための研究資金の獲得があります。日本でもノーベル賞受賞者が報道される事はしばしばありますが、研究者としての目指すべき形であり最終目標です。大学病院での外科医としての立ち位置はこれまでと変わりませんが、一生涯で執刀させて頂き、助けられる患者さんの数には残念ながら限りがあります。一方、研究で得られた成果は病気や健康面で困っている方々を救える大きな可能性を秘めています。

2003 年から勤務している米国（ボストン）の病院は Harvard Medical School の教育機関であり Faculty member でもある事から、研究費取得は大学への間接経費の面からも大事な仕事であり、まさに臨床・教育・研究の3本柱です。東京医大に戻ってからも自身代表の研究課題（3 課題）や分担者としても他のプロジェクトへの参加、科研費審査委員（救急医学）の分野で仕事を継続させて頂いております。

これまでも学会参加や研究会、大学・基幹病院での勤務によるクリニック休診でご利用頂いている患者さんにはご心配やご迷惑をお掛けする事もあった事と思いますが、多くの患者さんを救える可能性のある学会・論文報告や研究継続は大事な責務だと思っております。ご理解頂けますと幸いですし、応援いただくと尚嬉しいです。

2023 年 春